

おおい

坂井市議会
PRマガジン

6月定例会

第73号

2024.8



特集

坂井市議会 PRマガジンさかいが できるまで

議会報告会

一般質問

常任委員会報告



らしさ、かがやく。

坂井市

LINE 公式アカウント

坂井市の最新情報を日々発信中！

こちらの二次元コードから
「福井県坂井市」を友達に追加 ▶



坂井市議会 PRマガジン さかいができるまで



坂井市議会PRマガジンさかいは、令和6年度にリニューアルしたんやと☆
議会に関心が低い20代、30代にも読んでもらえるように「てにとりやすい、みやすい、わかりやすい」を目指してるんてなぞ☆

「坂井市議会PRマガジンさかいとは、市内全戸に配布され、市民と議会をつなぐ重要な役割を持った情報媒体で、広報編集委員会が中心に作成しています。議会の内容や議員の活動を広く伝えることは、市民生活に直接関係するさまざまな施策や事業がどのように決定されたか、議員がどのような活動をしているかを市民に伝えることとなり、議会の説明責任を果たすことにもつながります。」

1 レイアウト案作成・決定

第1回目の広報編集委員会
レイアウトと特集記事の案を作成・決定
「てにとりやすい」「みやすい」「わかりやすい」をコンセプトに、委員で協議していきます。



2 特集記事の取材

色んなところを飛び回って、
インタビュー・写真撮影します！



3 原稿依頼

各議員に一般質問や委員会の概要などの原稿依頼
わかりやすい文章にしてもらうように依頼します。
早く坂井市議会PRマガジンさかいを発行するために、**提出期限はかなりタイト**です。



4 原稿作成

各議員が一般質問や委員会の概要などの原稿作成・写真選定
議員が市民に伝えたいことを**ピックアップ**して、原稿を仕上げます。
伝えたいことが多いので、まとめるのが大変です。



7 完成

全戸配布で、市民の皆さまの元へ！
坂井市のホームページにも載っています。



6 原稿決定

最終原稿案を決定
委員長、副委員長に確認後、**最終原稿を決定**します。



5 原稿校正

第2～4回目の広報編集委員会
印刷会社から返ってきた校正原稿を確認し、**誤字・脱字の修正**やわかりやすい表記への変換について指示を出し、印刷会社が校正原稿を作り直します。
(この校正を3回繰り返します。)



委員の意気込み

永井 純一

広報編集委員一人一人が分かりやすい紙面づくりに情熱を持って取り組んでいます。ぜひ、読んでください。

廣瀬 陽子

市民の皆さまからのアンケートを活かし、「てにとりやすい」「みやすい」「わかりやすい」広報紙を目指します。

後藤 寿和

今まで分からないや分かりにくいと思っていた議会や政治に興味を持ってもらえるよう、皆さまが興味を持つ入り口となる広報紙を創っていきます。

山田 秀樹

市民の皆さまに信頼され親しまれるPRマガジンとなりますよう、多様な意見を取り入れながら励んでまいります。

岡部 恭典

委員と協力し、興味を持てる、わかりやすい広報紙の発行を目指し議会が身近に感じてもらえるよう、頑張っていきます。

伊藤 宏実

てにとりやすい、みやすい、わかりやすい「紙面」づくりに心掛け、市民と議会の懸け橋になるよう頑張ります。

林 豊夏

議会を身近に感じてもらえるように、頑張ります。また、若い世代にも興味を持ってもらえるような紙面にしていきます。

坂井市議会
PRマガジンさかいの
電子版はこちら ▶



坂井市議会の構成

Check

◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会

議会の円滑な運営を行うために常時置かれている委員会で、議事の順序や進め方などを協議する。そのほか、議長の諮問事項について調査を行う。

◎前田嘉彦 ○前川徹 岡部恭典 山田秀樹 古屋信二 佐藤寛治 川畑孝治 畑野麻美子

常任委員会

本会議で付託された議案・請願・陳情などを審査し市政の諸問題を調査する。

総務生活環境常任委員会

総務部、総合政策部、財務部、生活環境部、会計課

佐藤寛治 松本朗 伊藤宏実



◎古屋信二 ○廣瀬陽子 戸板進

教育民生常任委員会

健康福祉部（福祉事務所）、教育委員会、三国病院

鍋嶋邦広 永井純一 上坂健司 林豊夏



◎山田秀樹 ○伊藤聖一 田中哲治 三宅小百合 畑野麻美子 辻人志

産業建設常任委員会

産業政策部、農業委員会、建設部

後藤寿和 佐藤岳之 前川徹



◎岡部恭典 ○前田嘉彦 川畑孝治

特別委員会

本会議の議決によって必要に応じて設置され特定の問題を審査、調査する。

議会改革特別委員会

議会活動を身近に感じてもらえるよう議会活動の魅力向上に向けて調査研究する。

◎前川徹 ○佐藤岳之 林豊夏 三宅小百合 後藤寿和 田中哲治 佐藤寛治 松本朗 辻人志 川畑孝治 前田嘉彦 永井純一

観光文化交通対策特別委員会

観光地の魅力度を高めることや公共交通の課題解決に向けて調査研究する。

◎鍋嶋邦広 ○伊藤聖一 廣瀬陽子 伊藤宏実 岡部恭典 山田秀樹 上坂健司 戸板進 古屋信二 畑野麻美子

予算特別委員会

予算の審議を行う。 ◎伊藤聖一 ○林豊夏 議長を除く全議員

広報編集委員会

坂井市議会PRマガジンさかいの編集・発行を行う。

◎永井純一 ○廣瀬陽子 林豊夏 伊藤宏実 岡部恭典 山田秀樹 後藤寿和

※詳細は特集ページ（P1・2）へ。

議会報告委員会

市民との意見交換の場である議会報告会の開催に関し協議または調整を行う。

◎前川徹 ○佐藤岳之 鍋嶋邦広 田中哲治 辻人志 川畑孝治

議長
副議長
あいさつ

このたび、議員各位のご推挙により、議長・副議長に就任させていただきました。
私たちが自身、浅学非才の身ではありますが、その職責の重要さを自覚し、坂井市の発展のために、全力を尽くす覚悟でございます。

議会の最も重要なことである市民の方からの高い信頼を得るため、議長・副議長として何をすべきか常に意識し、職務に努めてまいります。

今後とも皆さまのご指導とご理解をいただきますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



副議長
永井純一

議長
戸板進

令和6年5月1日の
第2回臨時会において、就任しました。

坂井市議会の構成が新しくなりました!!

坂井市議会委員会条例に基づく2年間の任期が満了したことに伴い、新しい委員の選任が行われました。また、2つの特別委員会も新たに設置されました。新しくなった議会の構成は、次のページをご覧ください。

Q そもそも、議会を構成しているものってなに？

A 議会は、選挙で選ばれた議員で構成され、議長、副議長を選出し、各委員会を設置しています。設置される委員会などで議案審査や議会運営が行われており、最終的に本会議において決定されます。

議会構成

本会議

委員会

議長

副議長

議員

議会運営委員会

常任委員会

特別委員会

広報編集委員会

議会報告委員会



主な質疑内容

総合政策部

Q デジタル帰宅部について令和5年度との違いは。

A 高校生以外にも大学生や社会人が参加し、オンライン上での議論や現実でのフィールドワークを支援したり、令和5年度に提案されたアイデアを実証実験していく予定である。

Q 寄附市民参画事業において新たにポータルサイトを増やす理由は。

A 窓口を増やすことで、人目に触れる機会が増え、そこからの寄附が見込めると考える。

Q 空き家対策早期決断応援事業について、令和6年度中に予算額に達した場合の対応は。

A 寄附市民参画事業での施策で、3年間1,000万円ずつと考えているので、令和6年度、令和7年度と続けていく予定である。



▲ 寄附市民参画事業のバナー広告

生活環境部

Q 市内中学校でのストップ地球温暖化対策授業の予定は。

A 令和6年度は教材の開発を予定しており、令和7年度以降中学3年生を対象に、授業を行っていく予定である。

Q 高齢者のごみ出し支援は。

A 今後、検討していく中で、地域の共助の力を柱にして、地域の皆さんで支えていく福祉のごみ出し支援を考えていきたい。

財務部

Q 個人事業主に対する定額減税は。

A 普通徴収の人は6月の1期分から住民税が減税され、所得税は確定申告時に減税される。

総務部

Q 本市の障がい者雇用率の達成状況は。

A 令和6年6月1日時点で下回る可能性があったため、5月に採用し、現在国が示している障がい者雇用率は達成している。

請願・陳情

請願第2号	日本政府に核兵器禁止条約の参加、調印、批准を求める請願	不採択
-------	-----------------------------	-----

意見陳述者を招致し説明を受け審査

【主な意見】

- 非核平和都市宣言をしている坂井市議会として政府に意見を伝えるべきである。
- 核の脅威が存在する中で、日本が条約に参加しても実質的な核の脅威の緩和が得られるかどうか不透明である。国の安全保障を考えると条約に批准というのは難しい。

請願第4号	刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書の提出を求める請願	不採択
-------	------------------------------------	-----

意見陳述者を招致し説明を受け審査

【主な意見】

- 現在の刑事訴訟法は、検察に有利な形になっている。平等・公平な審査をするためには改正が必要である。
- 請願には具体的な内容が書かれてない。証拠の全面開示などについては現在国で議論されている。

令和6年度

一般会計補正予算概要

補正額 **18億9,812万円**（補正後の額 467億4,312万円）

令和6年度一般会計補正予算（第1号・2号）を議決しました。
ここには主な事業を掲載しています。

詳細はこちら▶



児童手当支給事業 2億3,500万円

国の制度見直しにより10月から実施される児童手当の拡充に伴い対象者および手当額が増加するため所要額を計上。

地方創生推進事業 609万円

高校生のデジタル帰宅部の活動に係る所要額およびデジタル上の提案を現実にしていくための所要額を計上。

都市公園整備事業 1億5,700万円

子どもの遊び場や地域住民交流の場、憩いの機会を創出するため、霞ヶ城公園（四季の森）、江留上公園の整備費用を計上。

中学校施設整備事業 2,000万円

教育環境の向上を図るため、市内全中学校の屋内運動場に空調設備を設置するための設計業務の委託費用を計上。

定例会審議結果

全会一致となった議案と議決結果

議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果
議案第34号	三国南小学校長寿命化改良工事(建築)請負契約の締結について	可決	陳情第2号	食料・農業・地域政策の推進に向けた要請	採択
議案第35号	三国南小学校長寿命化改良工事(電気)請負契約の締結について	可決	発議第6号	食料・農業・地域政策の推進に関する意見書の提出について	可決
議案第37号	財産の取得について	可決	同意第7号	公平委員会委員の選任について	同意
議案第38号	令和6年度坂井市一般会計補正予算(第2号)	可決	同意第8号~第32号	農業委員会委員の任命について	同意

賛否が分かれた議案一覧

○…賛成 ×…反対 □…棄権 △…欠席 -…原則採決に参加できない

議案番号	件名	議席 議員氏名	議決結果																						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
議案第36号	春江体育館耐震改修工事(建築)請負契約の締結について	林 豊夏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第2号	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める請願	佐藤 岳之	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
請願第3号	訪問介護の基本報酬の引き下げ撤回と介護報酬の引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願書	廣瀬 陽子	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	○		
請願第4号	刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書の提出を求める請願	鍋嶋 邦広	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	○		



主な質疑内容

建設部

Q 危険ブロック塀除却事業の進捗状況は。

A 当初の見込みより申込者が多かったため、今回10件の追加を行った。再度募集を行うが当初予算分で抽選に外れた申請者を優先的に補助対象とし、申請者が多数の場合は抽選で決定する。

Q 都市公園整備事業における東十郷中央公園と三国中央公園の今後の予定は。

A 東十郷中央公園は、令和6年度に実施設計、令和7年度から8年度で多目的広場の整備、令和8年度から9年度で公園の整備を予定している。
三国中央公園は、令和7年度の基本設計に向けてワークショップを予定している。

産業政策部

Q トラクターなど農業機械に対して補助を行った場合、課税はされているのか。

A 農業機械導入後にナンバープレートを付けた状態で完成検査を実施するため、課税漏れは存在しないと認識している。

Q 土地改良区において能登半島地震でのパイプライン復旧工事などによる農業への影響はないか。

A 通水していない冬期間の工事であったため、現在のところ営農に支障が出ているというような報告はない。

Q 農業振興基金の用途は。

A 農業振興公社の解散に伴い、坂井市農業再生協議会に事務を引き継いでいるための経費やこの他農業振興のための活用を検討していく。

Q 三国港市場の修繕にかかる市が負担する費用の基準は。

A 令和4年度から5年間、市有財産の使用賃借契約を締結しており、修繕費の取り扱いについては双方協議して定めることとしている。今回の修繕は市で実施する。

Q 林道の排水施設改良工事における側溝敷設のグレーチングの盗難防止対策は。

A 林道のパトロールとあわせグレーチング同士をつなぎ合わせるなど、盗難にあわないような対策を検討していく。



▲能登半島地震により雨漏りが発生した三国港市場

請願・陳情

陳情第2号	食料・農業・地域政策の推進に向けた要請	採択
-------	---------------------	----

意見陳述者を招致し説明を受け審査

【主な意見】

- 物価高騰や輸入依存、穀物対策、災害対策など課題が多い中、国民への食糧の安定供給と農業、農村の持続的発展に向けた政策が必要である。
- 農業基本法が改正される状況でこのような要請をしていくことは大事である。

☆発議第6号にて陳情をもとに意見書を提出。



主な質疑内容

三国病院

Q 面会制限の緩和は。

A 面会は午後2時からでコロナウイルスの感染状況も続いているため、制限を続けている。

Q リハビリ事業の変換について進捗は。

A 令和6年度の4月から病棟8床を、リハビリの機能訓練室に変更した。また、訪問リハビリをできるだけ早い時期から実施していきたい。



▲三国病院の新設リハビリテーション室

教育委員会

Q 学校の屋内運動場空調設備における省エネ対策は。

A 複層ガラスにするか、断熱フィルムを貼るか、または他の方法で断熱をしていくか、実施設計の中で検討していきたい。

Q 英国派遣事業の派遣に向けての準備は。

A 令和6年6月に事業説明会を開催した。今後の予定は7月に第1次選考会、8月に第2次選考会を開催し派遣団の生徒を決める計画である。

Q 不登校対応の専用教室設置の内容は。

A 令和6年度から校内サポートルームを各学校に設置している。設置したことで、令和5年度まで学校へ来られなかった子が来られるようになったという報告を受けている。

健康福祉部

Q 丸岡総合福祉保健センター改修工事における空調設備改修について、改修は夏に合わないと思われるが、猛暑の中大丈夫なのか。

A 令和6年度は現在の空調設備を生かし、令和7年度から新しい空調設備を利用していく。

Q 介護保険サービス事業所に対する電気代など高騰分の6月以降の支援については。

A 国や他の市町の動向も見極めながら検討していきたい。

Q 子ども食堂は学校や行政と情報共有できているのか。

A むすびえ*の事業でネットワーク化されており、市役所、自立相談機関、こども家庭庁などと連携し、情報提供や周知事項などの情報共有を進めている。

*むすびえ：認定NPO法人全国こども食堂支援センター

請願・陳情

請願第3号	訪問介護の基本報酬の引き下げ撤回と介護報酬の引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願書	不採択
-------	---	-----

意見陳述者を招致し説明を受け審査

【主な意見】

- 現行の介護報酬の引き下げを撤回すると、介護保険料の見直しが必要となり、保険料が値上がりすることになる。
- 人件費の部分は処遇改善で加算されている。介護費用をどうするか、全体的に考えていくべきである。

市政のここが知りたい

一般質問

令和6年6月18日～20日の3日間：14人

次ページからは、質問項目中の特に市民の皆さまへお届けしたい内容を掲載しています。

全編については後日議会ホームページに掲載される会議録や、YouTube(チャンネル名・福井県坂井市議会)でご覧ください。YouTubeは議員写真下の二次元コードから視聴できます。なお、文章は各議員が作成しています。

一般質問ってなに？

定例会において、議員が市の実施している事業の状況や方針などについて、市から報告や説明を求めするために質問することです。

【通告一覧】

Table with 3 columns: 議員氏名, 通告内容, ページ. Lists 14 council members and their questions.



鍋嶋 邦広



有害鳥獣増加の現状に対し、抜本的な対策を

過去3年間の鳥獣被害被害の状況と決算額ベースの対策費と効果は。また、令和6年度予算と具体的対策について伺う。

過去3年間の被害状況は、三国地区においては、カラスによる梨の被害、イノシシや中獣類によるスイカ、サツマイモなどの被害、丸岡地区においては、イノシシによる水稲、ソバへの被害が主なものとなっている。

対策費の決算額は、令和3年度、678万2千円、令和4年度、803万円、令和5年度、1106万4千円となっている。

また、豚コレラの終息により、丸岡地区ではイノシシが増加しているが、捕獲隊などによる徹底した捕獲の管理により、成果が



▲住宅地にも出没するイノシシの様子(三国町新保地保)

※中獣類：アライグマ、ハクビシン、アナグマ、タヌキなどの中型野生動物

あつたと思われる。

令和6年度の予算額は、1287万4千円で、捕獲後の処分手数料の値上げ、クマ用捕獲おりの購入、電気柵の延長、防鳥ワイヤーの追加導入などにより、対策費は増加している。

今後も、坂井市鳥獣被害防止計画に基づいて、直接被害を受ける地域や農家と一体となって体制を強化し、手を緩めることなく捕獲に力を入れていく。



永井 純一



市民を守る物価高騰対策を

政府の経済対策として、賃金と物価の好循環が挙げられ、企業に対して賃上げを促している。子育て支援では、児童手当の拡

充が10月から行われる。また、物価高から暮らしを守り、可処分所得を直接的に下支えする

定額減税が始まっている。これらの国の政策に対して、市民への影響をどのように評価しているのか。

政府の物価高を上回る所得の増加に向けた施策により、企業の賃上げの動き、広がりが出てきていると感じる。

また、児童手当の拡充は子育て世帯への経済的支援を図る、重要な施策である。

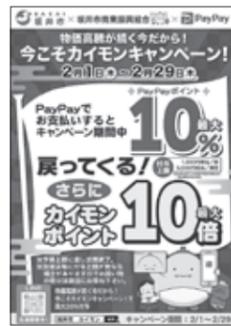
さらに、定額減税は給与手取りの増加を実感することにより、デフレ脱却が確かなものになるよう

実施されるものである。

これらの国の施策は、市民の生活の質を向上させ、消費の拡大、地域経済の活性化につながるものとの評価もある。

キャッシュレスキャンペーンを実施しては。

これまで、コロナ禍や物価高といった社会情勢があり、国のコロナ交付金を活用し実施してきた。市単独予算では、財政負担も大きく、国や県の経済対策を見極めながら、効果的な支援策を検討する。



▲令和6年2月に実施したカイモンキャンペーンのチラシ



はやし
とよ
か
林
豊
夏



結婚応援日本一に向けて



Q 結婚応援日本一に向けた取り組みの具体的な成果は何か。

A 令和5年度はアイデアコンテストや結婚フォーラムを開催し、結婚応援都市としての機運を醸成した。具体的には、4回の婚活イベントで15組のカップルが成立した。

A 全国からのアイデア募集や市独自の補助金（新婚ハッピークーポン券や新婚ハピネスクーポン券など）が特徴である。

Q 結婚応援課の現時点での課題と改善策は何か。

A 女性の婚活イベント参加者が少ないことが課題である。伴走型の相談員、メンターの養成に取り組み、不安を抱える市民に寄り添う予定である。



▲ふたりの未来をイメージしてみる写真展（ハートピア春江）

Q 結婚応援課の事業の中で特に効果が高い事業は何か。

A 令和5年度は婚活事業を5件開催し、婚活界の力リスマの協力を得た事業が効果的だった。今後もフイードバックを基に評価し計画を立てる。

Q 結婚応援日本一宣言に基づく具体的な施策と特徴的な取り組みは何か。



さい
とう
かん
じ
佐
藤
寛
治



幼児教育と小学校教育の接続は

Q 保育園と小学校の協働による架け橋期の教育は。

A 小学校教諭と保育士が意見交換や情報共有を行い架け橋期の教育を進めており、全ての子どもがウェルビーイング*を目指している。

Q また、小学1年生の教育相談件数は年々減少傾向にある。

A 小学1年生がガイド役を務めた学校探検など触れ合いの機会を持つては。

Q 1年生が企画し、入学予定者を学校に招待し、遊びや学校を案内して交流しているが、さらに探検を含め交流の充実を図りたい。

Q 新しい学びの中で新聞をどのように活用しているのか。

A 授業教材として新聞を活用した学習に積極的に取り組んでおり、探究的な学習を進める上で、課題



▲小学生と未就学児の触れ合い

設定、調査、まとめ方など新聞の活用に取り組みたい。

Q 新聞を教材として活用する場合、学校図書館司書の協力が重要と言われているが、今後の方向性は。

A 図書館司書を配置していない学校には司書教諭を配置しており、問題はないが、図書館司書の配置については必要性に応じて検討していく。

*ウェルビーイング：身体的、精神的に健康な状態であるだけでなく、社会的、経済的に良好で満たされている状態にあることを意味する概念



まえ
だ
よし
ひこ
前
田
嘉
彦



丸岡城天守とおもてなしについて



Q 丸岡城天守大規模修繕期間について伺う。

A 令和7年度冬頃から工事着工し、令和9年度中の完了予定である。

Q 大規模修繕期間中の観光客に対する対応について伺う。

A 工事期間中は、丸岡城天守全体が足場で囲われ、やむを得ず入館できない期間も想定しているが、安全に配慮しながらお城の中が見学できるように考えていきたい。

Q 「首里城の見せる復興」のように見せる改修を立案してはどうか。

A 写真でたどる「見せる改修」の写真展コーナーの設置など、首里城での取り組みも参考にしながら公開方法について検討したい。



▲日本さくら名所100選に選ばれた丸岡城

桜の名所の保全活動について



Q 丸岡城山などの桜の植栽計画について伺う。

A 城山の桜は現在218本で衰弱傾向のため、剪定、薬剤散布、施肥など維持管理が必要であり、丸岡城樹木調査報告書に基づき計画的に保全活動を行いたい。中長期的な対応については、令和6年度から8年度で策定する城山整備基本計画を踏まえ、長寿命化を図りながら、計画的な植樹および土壌づくりなど、できることから着手していきたい。



い
とう
せい
いち
伊
藤
聖
一



公費による給食食材費高騰対策を

Q 給食食材費単価はどのように決められているのか。

A 児童・生徒一人一回当たりの給食摂取基準と標準食品構成表を基礎とし各食品の使用量や年間購入単価などを勘案した上で、地域の実情などを踏まえて算出することとなっている。

Q 食料品平均上昇率を掛けて、予想価格単価表を参照している。

A 今の決め方では、価格が急騰した場合、給食食材費の変更に難しく、食材費が不足することが予測されるが、その点をどのように対応していくのか。



▲七夕給食（三国学校給食センター）

管理栄養士は創意工夫し、おいしい給食に努めている。

Q 現在の食品価格の高騰は、創意工夫で賄える範囲を超えているのではないのか。

A 給食単価の変更では対応に時間を要するので、公費による補助はできないのか。

A 物価高騰を乗り切る上で、何が一番有効な方法なのか検討したい。



後藤 寿和



部活動地域移行の不安と課題解消に向けて



Q 令和6年度は26の部活動の移行を計画されているが進捗状況は。

A 5月末現在、5つの中学校で26のうち13の部活動が9月までに地域移行する見込みである。

それ以外も、外部指導者の確保や運営体制の確立を教職員、顧問、保護者と協議を進めている。

Q 土日祝日の練習場は学校を利用できるのか、別の施設を利用していいのか。

A これまでの活動環境を変えずに、練習会場はこれまでどおり学校体育施設を利用する予定である。

部員数が少ない部活動は、複数の生徒が体育施設などに集まって活動を行うということもある。

Q 文化部の地域移行に関しては。運動部の移行状況を参考にし、令和7年度末をめどに地域移行を進めていきたい。



▲本格的に動き出した部活動の地域移行

Q 保護者負担をどのように予測しているのか。

A 休日に参加する際の傷害保険料、水分や栄養費、備品消耗品などの活動費を想定している。

Q 保護者負担軽減の具体的取組をどのように考えるのか。

A 極力保護者負担軽減に努めているのが第1原則である。保護者の意見、要望、委員の指摘などを検討しながら、しっかりと取り組んでいく。



畑野 麻美子



坂井市子ども計画の策定と、こども・子育て支援事業債の活用を



Q 坂井市子ども計画の策定を。

A こども・子育て支援事業を位置付けした子ども計画の策定に向けて取り組んでいく。

Q こども・子育て支援事業債を活用した施設整備や環境改善を。

A 施設整備、環境改善を実施する際には、本事業債の有効活用を図る。

Q 簡易トイレの十分な備えや公園のトイレなども整備されているか。

A 簡易トイレは各指定避難所などの防災備蓄倉庫に一定数を配置し、本庁倉庫にも備蓄してある。一時避難場所の公園などに新たにトイレを整備する予定はない。

Q 上下水道の耐震化は十分か。

A 救急指定病院への管路や浄水場など主要水道施設・避難所周辺の管路などを中心に、順次、計画的に事業を進めていく。



▲高椋小学校の防災合宿の様子



廣瀬 陽子



文化財保存・活用に新たな考えを



Q 豊原周辺では木が生い茂り、草刈りや雑木の手入れを年に数回、まちづくり協議会を中心に行っているが、担い手不足や、重機作業など予算が必要である。

このような作業に森林環境譲与税を活用できないか。

A 森林環境譲与税の活用は条件もあり、活用できるよう県と引き続き協議をしていきたい。

Q あわら市・坂井市森林整備構想に、「環境教育の推進にあたって、森林を訪れたり、木に触れたりする機会を作る市民や団体の活動を支援します」とあるが、豊原の整備はこれに当たるのではないか。

A 豊原寺跡の草刈り整備が森林整備に合致すれば使用可能であるため、まずは活動内容を協議したい。

Q 「丸岡藩誕生400周年」や「出張！お城EXPO in 坂井市・丸岡城2024」など、丸岡藩・丸岡城が注目され、丸岡城のルーツとして豊原にも関心が高まっている。



▲草が生い茂る旧白山神社跡（丸岡町豊原地係）

Q 丸岡城と合わせ、広い範囲で周辺の関連施設も周遊するための工夫が必要ではないか。

A 本市が作成した再生古地図や、DMOさかい観光局が作成した丸岡城下町マップを活用した丸岡城周辺の周遊だけでなく、豊原も含め、市内観光スポット情報を掲載したパンフレットなどでPRを図り、誘導できるように取り組みたい。



川畑 孝治



サンセットビーチの整備をすべき



Q 砂の流失を防ぐべき。

A 砂は波などにより常に移動し入れ替わり対策は難しい。

Q 広い砂浜、遠浅に戻すべき。浚渫した砂をビーチに入れ、ならし作業をしており、管理者の県と連携し、協議する。

Q 国道305号線沿いにあるテトラポットを活用しては。県と相談し進めていくことが必要である。

マイナ保険証への取り組みは



Q マイナ保険証へ移行するが、市内医療機関での取り組み状況は。

A 医療機関でのポスター掲示や呼びかけ、保険証の更新時にチラシ同封、健康フェスタ時に普及啓発に取り組み。

Q 市内の子どもは全員医療費無料のため、子ども医療費受給者証は不要では。

A 受給者証には公費負担者番号と受給者番号が記載されており医療費請求時に必要である。

経済対策をすべき



Q 経済対策としてキャッシュレスキャンペーン事業を行っては。

A 単独の予算で行うのは財政負担が大きい。

Q 20年ぶりに新紙幣が発行されるが、相談や支援の取り組みは。新紙幣に係る支援の要望などは現在受けていない。



▲国道305号線沿いのテトラポット



まえ がわ とおる
前川 徹



若者の人口増を基本目標とした人口減少対策、少子化対策を

Q 令和5年度の人口動態は。

A 自然動態は出生数543人、死亡数1155人で612人の減少、社会動態は転入数2999人、転出数2823人で176人の増加となっており、合わせて年間436人の人口減少となった。

Q 若者の地元就職やUターン就職を後押しする施策の充実を。

A 高校生やその保護者に対して地元企業の魅力を伝える「高校生未来塾」を実施するとともに、「はたちのつどい」に合わせた就職対策講座や、大学生を対象にした長期インターンシップを実施している。

A 地元企業への支援を継続するとともに、企業立地セミナーに参加し本市をPRするなど、県やハローワークなどと連携して地元雇用の促進を図っていききたい。

若い世代が安定した仕事や、幸せを感じる暮らしのある将来を思い描けるような施策を、国や県に強く働きかけるべきではないか。また、人口減少を見込んだ新たな市の総合戦略が必要ではないか。

A 東京一極集中を是正することが、日本にとって少子化対策の一番の特効薬だと思っており、県も強く国に訴えている。

A 令和6年度、ウエルビーイングを総合戦略の視点とした、後期基本計画の策定に着手している。



▲坂井市合同就職説明会で、地元企業に質問する学生たち（令和6年3月13日）



まつ もと あきら
松本 朗



自衛隊の活用は政治的背景を踏まえて対応を

Q 中学生の職場体験に自衛隊の指定状況は。

A 学校が作成した体験リストから生徒が決める。令和6年度は丸岡南中学生が3名、令和5年度は坂井中学生が10名参加した。

Q 防災合宿での自衛隊の活用は。

A 自衛隊員から災害体験談や毛布を使った担架の作り方など教わっている。
Q 自衛隊の憲法上の位置付け、政治・社会的な議論がある中、政治的背景を踏まえて対応すべき。
A 今後、支障がある場合は、検討していききたい。

自衛隊への名簿提供はやめるべき

Q 個人情報保護法が禁止している本人の了解を得ずに個人情報を提供することについて

供することの法的根拠は。

A 令和3年2月の防衛省、総務省連名の通知において、住民基本台帳法上も問題がないとの見解が示された。

Q 法的精査を本市が行ったか。
A 国からの通知なので、それを順守するのが一般的である。

Q 本市が、法的研究はしていない。通知は、技術的助言で従わなくてもよいはず。
A 国の考え方が明確化したので、市として、提供に応じた。



▲海上自衛隊の一般公開。多用途支援艦「ひうち」と大勢の見物者（7月7日福井港）



みやけ さゆり
三宅 小百合



インバウンドの誘客戦略を

Q 令和5年度に福井県を訪れた外国人訪問者数は全国46位だが、本市の状況と誘客戦略は。

A 令和5年度の外国人宿泊数は900人となり、海外に向けた情報発信をさらに強化する必要がある。

Q 外国人目線を取り入れたプロモーションや、SNSなどの発信が必須であるが本市の現状は。

A 令和6年4月にDMOさかい観光局が運営する公式観光サイト「さかい旅ナビ」をインバウンド向けに刷新、リニューアルし、令和6年度に外国語対応スタッフの採用を予定している。

Q インバウンドに対応したインフラ整備の状況は。

A 令和5年度より多言語化対応やキャッシュレス決済、免税対応など、初期費用の一部を支援、助成し、12の事業者が活用した。富裕層に向けた誘客は具体的に

どのように行うのか。

A マーケット調査、事業者のための理解促進、エージェントを招聘したモニターツアーに取り組み、それらの事業を通して得られた課題に中期で取り組んでいく。

Q ウエルネスツーリズム※はどのように取り組んでいくのか。

A 福井県広域ウエルネス推進協議会の取り組みに協力しながら、観光庁の「特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進事業」の推進も行っていく。



▲令和6年4月にリニューアルした公式観光サイト「さかい旅ナビ」

※ウエルネスツーリズム：心身の健康と幸福を目的として行われる旅行



さとう たくや
佐藤 岳之



令和6年度の熱中症対策は十分か

Q 熱中症特別警戒アラートが発表された場合の周知や対応方法は整備されているか。

A 熱中症特別警戒アラートは、環境省が翌日の予測値を午後2時に発表し、対象となる都道府県知事に通知され、さらに県から市に通知が届く。

A 本市では、その通知を受け庁内で情報を共有し、関係機関、各団体などへの周知を行うとともに、速やかにクーリングシェルター※施設に連絡し、協力を依頼する。市民に対しては、いち早く周知することが重要であり、防災サポ、防災メール、市公式ライン、ホームページのほか、防災行政無線でも周知を図っている。

Q クーリングシェルターの設置状況は。

A また、民間施設の応募状況、および市内全域を網羅しているか。

A 令和6年5月末現在で、公共施設39カ所、民間施設51カ所となり、市内全域に設置をしている。

A また、協力いただける民間施設を随時募集し、順次増やしていきたいと考えている。

Q 屋外での作業を担う市職員への熱中症対策アイテムの活用は。

A 気温が高い日には屋外での業務時間を短くすることや、熱中症対策アイテムの活用といったことなども含めて、市としてさらなる対策を検討していききたい。



▲クーリングシェルター「涼み処さかい」を示すのぼり

※クーリングシェルター：気温が高いとき、熱中症などの重大な健康被害発生を防止するための冷房設備を備えた休息所



議会連絡掲示板

議会と意見交換しませんか？

議会との意見交換会を希望する団体を募集しています。
 坂井市議会では議会基本条例に基づき、さまざまな団体との意見交換会を実施しています。
 募集内容を坂井市議会ホームページに掲載しています。
 詳細は右の二次元コードからご覧ください。

こちらから
ホームページに
とびます！



議会を傍聴してみませんか？

事前予約は不要ですので、
お気軽にお越しください。



★ 9月定例会会期日程(予定)

※ 日程は、変更になる場合がありますので、変更となった場合は、坂井市議会ホームページでお知らせします。

日	月	火	水	木	金	土
8/25	26	27	28	29	30 10:00～ 本会議初日 (行政報告、議案説明など)	31
9/1	2	3	4	5	6	7
8	9 10:00～ 一般質問	10 10:00～ 一般質問	11 10:00～ 一般質問	12	13 10:00～ 産業建設常任委員会	14
15	16	17 10:00～ 教育民生常任委員会	18 10:00～ 総務生活環境常任委員会	19	20	21
22	23	24	25 10:00～ 本会議最終日 (委員長報告・採決など)	26	27 定例会 会期日程は こちら▶	



編集後記

今回から広報編集委員のメンバーが変わりました。継続メンバーが3名、新規メンバーが4名です。

多くの市民の皆さまに読んでいただけるよう、分かりやすい紙面の工夫に取り組み、メンバー一人一人が決意に燃えて、編集に取り組みました。

前号から取り組み始めた特集では今回、坂井市議会PRマガジンさかいを議員が心を込めて作成している過程を取り上げました。

一人でも多くの方にご理解をいただけたらと思います。

人口減少社会に入っています。だからこそ、市民一人一人のシビックプライド、郷土愛・地元愛の醸成が図れるよう、議会活動・広報活動に努めてまいります。

市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

(永井 純一)

令和5年度 政務活動費の会派収支について報告します

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な費用の一部として、議会における会派に対し交付されます。

- ・各月1日時点の会派の所属議員数に月額50,000円を掛けた金額が交付されます。
- ・収支内容は、毎年度議長に報告し、残額がある場合は市に返還することになっています。
- ・議会ホームページにて各会派の収支報告書を公開しています。



▲議会ホームページ
(政務活動費について)

《令和5年度》

(単位:円)

科目	会派名							合計
	創政会	政友会	志政会	日本共産党議員団	公明党	政新さかい		
収入	政務活動費	7,200,000	1,850,000	1,800,000	1,200,000	600,000	550,000	13,200,000
	預金利子	29	10	6	3	2	1	51
	合計	7,200,029	1,850,010	1,800,006	1,200,003	600,002	550,001	13,200,051
支出	調査研究費	1,173,032	321,270	311,238	0	27,110	133,859	1,966,509
	研修費	14,580	0	270,220	0	0	0	284,800
	広報費	135,520	0	0	744,644	0	0	880,164
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0
	要望・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	984,702	13,158	385,096	50,833	0	0	1,433,789
	資料購入費	77,446	0	90,712	29,400	0	0	197,558
	人件費	127,117	0	0	0	0	0	127,117
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0
	事務費	47,520	13,255	11,880	7,920	3,960	3,630	88,165
その他の経費	0	0	0	0	0	0	0	
合計	2,559,917	347,683	1,069,146	832,797	31,070	137,489	4,978,102	
残 額	4,640,112	1,502,327	730,860	367,206	568,932	412,512	8,221,949	
返還額	政務活動費	4,640,083	1,502,317	730,854	367,203	568,930	412,511	8,221,898
	預金利子	29	10	6	3	2	1	51

政務活動費の主な使途事項

■調査研究費

会派が行う市の事務、地方行財政などに関する調査研究(視察を含む)および調査委託に要する経費

■研修費

- ①会派が研修会、講演会などを開催(共同開催を含む)するために要する経費
- ②団体などが開催する研修会(視察を含む)、講演会などへの参加に要する経費

■広報費

会派が行う活動、市政について市民に報告するために要する経費

■広聴費

会派が行う市民からの市政および会派の活動に対する要望、意見の聴取、市民相談などの活動に要する経費

■要望・陳情活動費

会派が要望、陳情活動を行うために必要な経費

■資料作成費

会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費

■資料購入費

会派が行う活動に必要な図書、資料などの購入に要する経費

■人件費

会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費

■事務費

会派が行う活動に係る事務の遂行に要する経費

議会報告会を開催しました



▲ 浜四郷コミュニティセンターの様子

○日時:5月29日(水)19時～
会場:浜四郷・江留上・坂井木部
各コミュニティセンター

○日時:5月30日(木)19時～
会場:城のまちコミュニティセンター

4会場で、42名の市民の皆さまが
参加され意見を交換しました。
ありがとうございました。



主な意見など

- 区の要望や補助金申請は、その都度、用紙に記入し届けているが様式を電子化し区長の負担を減らしてほしい。
- 福井港丸岡インター線の早期実現を。
- 防災会議委員の活動内容が見えてこない。市民の防災意識向上のためにもっとオープンにした方がいい。
- イノシシを捕獲した人に一定の報酬を支払ってほしい。
- 能登半島地震に伴い、珠洲市への支援、運営方法について大変参考になった。坂井市も万が一の体制をしっかりと整備しておく必要がある。
- 福井空港を防災拠点としてはどうか。
- 少子化も問題だが、城のまち地区の見守り隊の高齢化の問題、若い世代に引き継いでいなくてはならない。市でも対策を講じてほしい。
- オンデマンド交通を、土曜、日曜にも運できないか。
- 春江体育館やB & G体育館などのバリアフリー化、空調整備を進めてほしい。
- 带状疱疹の予防接種は、夫婦2人で8万円かかる。補助をお願いしたい。

議会報告会を終えて…

議会報告会にご参加いただき、誠にありがとうございました。
今回の開催では、市民の皆さまからもご意見やご要望などが活発に出た議会報告会になったと感じられました。
今後ともこのように市民との対話の機会を設け、参加していただいた市民の皆さまにだけよかったですと思っただけのような議会報告会にしていきたいと思えます。
(議会報告委員長)

皆様のご意見などは…

議会報告委員会において整理し、回答が必要な場合は、関係課に確認の上、回答をしています。

また、頂きましたご意見を取りまとめ、市長に報告したり、本会議や委員会などの質問を通して、皆さまの声を市政に届けています。



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキを使用しています。